

1 職員数

(1) 総職員数

平成28年4月1日現在の市町村及び一部事務組合等の総職員数は、平成10年から24年まで15年連続で減少し、25年から27年まで3年連続で増加していましたが、今年の総職員数は、旭中央病院の独立行政法人化により1,902人の減少があったため、大幅に減少しています。(表1、図1)。

①このうち、市町村の職員数は49,031人で、前年に比べ1,625人減少し、一部事務組合等の職員数は4,613人で、前年に比べ35人減少している。

②団体別の増減状況を見ると、98団体中45団体(うち市町村:16市8町)が職員数減、29団体(うち市町村:18市5町1村)が職員数増、24団体(うち市町村:3市3町)が職員数増減なしとなっている。

全国の地方公務員総数(都道府県を含む。)は、平成7年から22年連続して減少し、前年に比べ1,074人(対前年比0.04%)減の2,737,263人となっている。

市町村別の職員一人あたり人口をみると、総職員では、職員一人あたりの人口が最も多い団体で174.4人、最も少ない団体で47.0人となっており、一般行政部門職員では、職員一人あたりの人口が最も多い団体で272.8人、最も少ない団体で78.6人となっている(表2)。

表1 総職員数の推移

(単位:人、%)

区分	県 計			全 国 計			区分	県 計			全 国 計		
	総職員数	対前年増減数	対前年増減率	総職員数	対前年増減数	対前年増減率		総職員数	対前年増減数	対前年増減率	総職員数	対前年増減数	対前年増減率
17年	61,029	△ 803	△ 1.3%	3,042,122	△ 41,475	△ 1.3%	23年	55,408	△ 297	△ 0.5%	2,788,989	△ 24,866	△ 0.9%
18年	60,079	△ 950	△ 1.6%	2,998,402	△ 43,720	△ 1.4%	24年	55,091	△ 317	△ 0.6%	2,768,913	△ 20,076	△ 0.7%
19年	58,839	△ 1,240	△ 2.1%	2,951,296	△ 47,106	△ 1.6%	25年	55,096	5	0.0%	2,752,484	△ 16,429	△ 0.6%
20年	57,727	△ 1,112	△ 1.9%	2,899,378	△ 51,918	△ 1.8%	26年	55,127	31	0.06%	2,743,654	△ 8,830	△ 0.3%
21年	56,494	△ 1,233	△ 2.1%	2,855,106	△ 44,272	△ 1.5%	27年	55,304	177	0.3%	2,738,337	△ 5,317	△ 0.2%
22年	55,705	△ 789	△ 1.4%	2,813,875	△ 41,231	△ 1.4%	28年	53,644	△ 1,660	△ 3.0%	2,737,263	△ 1,074	△ 0.04%

図1 総職員数(県計)の推移

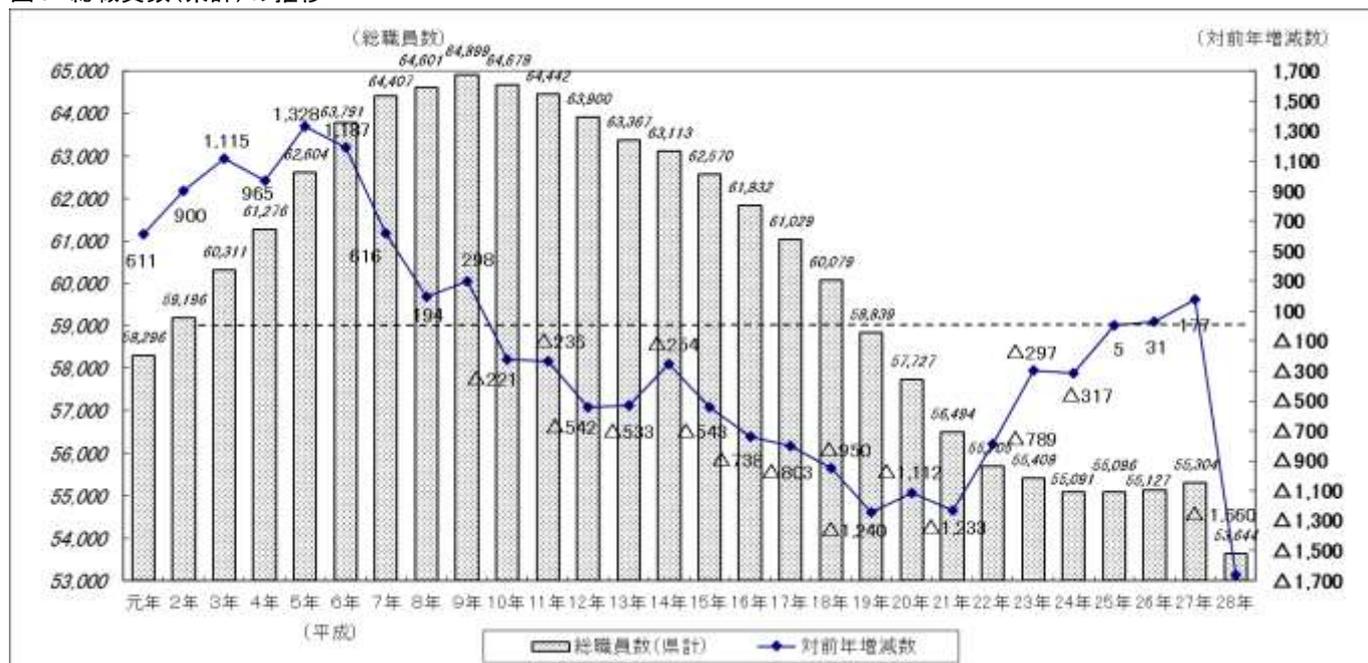


表2 職員一人あたり人口（降順）

（単位：人）

市町村名	職員一人あたり人口 (総職員)
佐倉市	174.4
流山市	168.5
鎌ヶ谷市	157.3
柏市	156.9
我孫子市	153.8
野田市	151.7
茂原市	150.0
白井市	149.7
八千代市	149.0
四街道市	148.8
市川市	147.5
印西市	144.7
市原市	139.5
八街市	135.7
木更津市	134.7
船橋市	130.0
千葉市	128.8
香取市	122.9
酒々井町	122.9
山武市	121.4
浦安市	121.3
松戸市	120.9
東金市	120.2
館山市	119.2
習志野市	118.5
富里市	110.7
九十九里町	108.1
長生村	107.3
いすみ市	107.3
成田市	105.1
富津市	103.5
銚子市	101.9
大網白里市	99.6
袖ヶ浦市	99.0
旭市	98.5
君津市	97.8
一宮町	96.7
栄町	92.5
東庄町	87.6
横芝光町	84.1
白子町	83.9
匝瑳市	82.9
御宿町	82.0
鋸南町	81.3
神崎町	80.0
勝浦市	78.0
南房総市	78.0
睦沢町	77.5
鴨川市	70.3
長柄町	69.6
長南町	67.6
芝山町	64.6
大多喜町	53.3
多古町	47.0
市平均	132.0
町村平均	75.7
市町村平均	127.5

市町村名	職員一人あたり人口 (一般行政部門職員)
流山市	272.8
松戸市	266.0
柏市	249.2
鎌ヶ谷市	242.2
我孫子市	241.1
野田市	239.7
船橋市	238.4
佐倉市	236.4
四街道市	236.2
千葉市	235.9
市川市	230.1
八千代市	226.9
木更津市	225.2
市原市	219.7
習志野市	208.7
白井市	201.8
銚子市	201.7
印西市	199.2
浦安市	196.4
茂原市	194.0
大網白里市	190.2
富里市	186.4
八街市	185.0
東庄町	182.9
東金市	181.2
袖ヶ浦市	179.4
香取市	178.6
匝瑳市	175.2
富津市	170.9
成田市	170.0
酒々井町	167.4
横芝光町	167.1
栄町	165.7
君津市	165.0
山武市	163.6
館山市	163.5
旭市	155.4
九十九里町	147.3
多古町	134.9
長生村	133.7
いすみ市	132.1
一宮町	122.2
南房総市	117.7
鋸南町	114.7
睦沢町	113.3
神崎町	112.9
鴨川市	108.3
白子町	103.8
勝浦市	102.9
御宿町	99.8
長南町	93.6
長柄町	84.8
大多喜町	81.2
芝山町	78.6
市平均	221.3
町村平均	119.7
市町村平均	211.8

※ 人口は、平成28年1月1日現在の住民基本台帳人口による。

(2)部門別職員数

平成28年4月1日現在の総職員数の構成を部門別にみると、一般管理が15,387人（構成比28.7%）と最も多く、以下、福祉関係14,593人（同27.2%）、消防7,807人（同14.6%）、教育6,355人（同11.8%）、病院5,310人（同9.9%）、その他公営企業等4,192人（同7.8%）となっている（表3、図2）。

部門別の増減状況をみると、福祉関係が245人（対前年比1.7%）の増、消防が15人（対前年比0.2%）の増となっている。

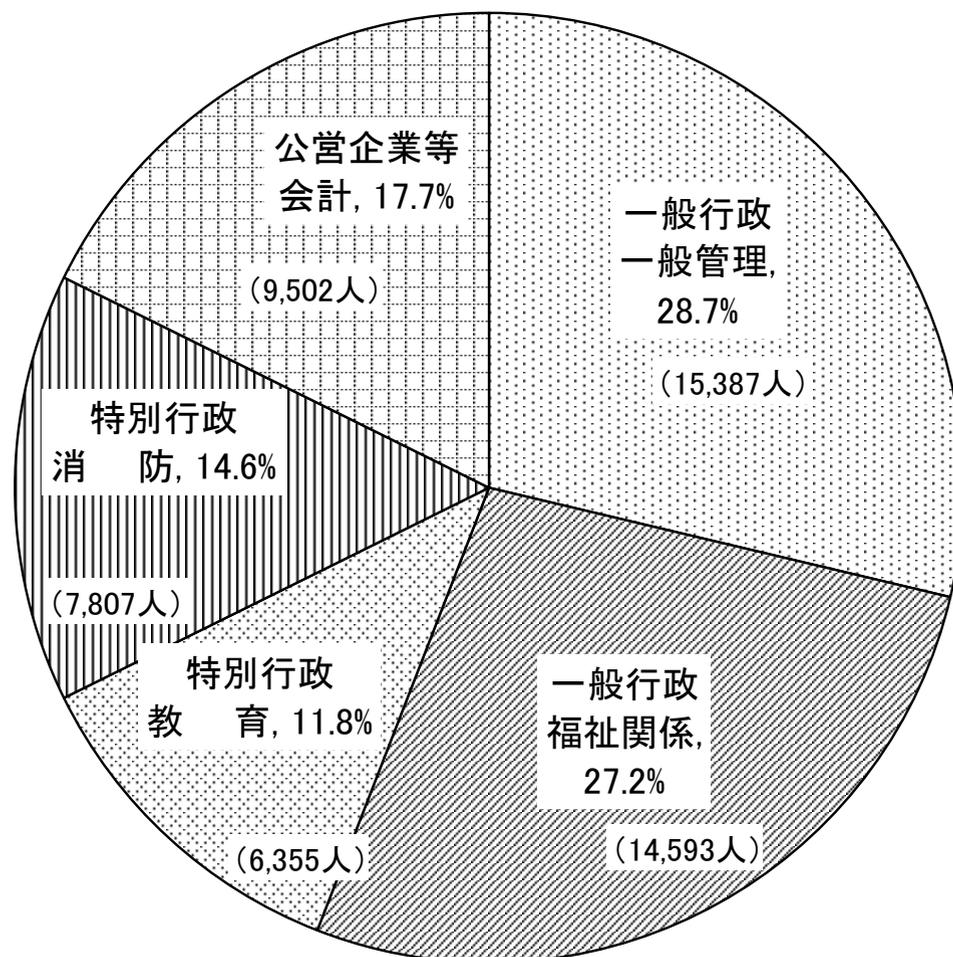
一方、教育が平成7年から引き続き、業務の民間委託や指定管理者制度の導入等により82人（同1.3%）の減、一般管理が平成26を除いて平成9年から事務の合理化等により減少を続けており13人減（同0.1%）となった。

全国の増減状況をみると、増加したのは一般管理、福祉関係、警察及び消防の部門であり、それ以外の部門は減少している。

表3 大部門別職員数(平成28年4月1日現在) (単位:人、%)

区 分	県 計				全 国 計				
	職員数	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	職員数	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	
一般 行政 部門	一般管理	15,387	△ 13	△ 0.1 %	28.7 %	546,305	1,172	0.2 %	20.0 %
	福祉関係	14,593	245	1.7 %	27.2 %	364,575	346	0.1 %	13.3 %
	計	29,980	232	0.8 %	55.9 %	910,880	1,518	0.2 %	33.3 %
特別 行政 部門	教 育	6,355	△ 82	△ 1.3 %	11.8 %	1,021,527	△ 3,164	△ 0.3 %	37.3 %
	警 察					286,971	1,220	0.4 %	10.5 %
	消 防	7,807	15	0.2 %	14.6 %	160,327	738	0.5 %	5.9 %
	計	14,162	△ 67	△ 0.5 %	26.4 %	1,468,825	△ 1,206	△ 0.1 %	53.7 %
普通会計部門計		44,142	165	0.4 %	82.3 %	2,379,705	312	0.0 %	86.9 %
公営 企業等 会計部門	病院	5,310	△ 1,784	△ 25.1 %	9.9 %	-	-	-	-
	その他 公営企業等	4,192	△ 41	△ 1.0 %	7.8 %	-	-	-	-
	計	9,502	△ 1,825	△ 16.1 %	17.7 %	357,558	△ 1,386	△ 0.4 %	13.1 %
合 計		53,644	△ 1,660	△ 3.0 %	100.0 %	2,737,263	△ 1,074	0.0 %	100.0 %

図2 部門別職員構成比(県計) (平成28年4月1日現在)



【用語の説明】

「一般行政部門」

議会事務局、総務・企画、税務、労働、農林水産、商工、土木、民生、衛生の各部門(教育、公安を除く各種行政委員会を含む。)の総称。

「一般管理部門」

一般行政部門のうち福祉関係を除く部門の総称。国の法令等による職員の配置基準が少なく、地方公共団体が主体的に職員配置を決める余地が比較的大きい。

「福祉関係部門」

一般行政部門のうち民生及び衛生の両部門を合わせたもの。国の法令等による職員の配置基準が定められている場合が多い。

「特別行政部門」

教育(教育委員会事務局、社会教育施設等を含む。)、警察、消防の各部門の総称。国の法令等による職員の配置基準が定められている職員が大宗を占める。

「普通会計部門」

一般行政部門と特別行政部門を合わせたもの。

「公営企業等会計部門」

病院、水道、交通、下水道、その他(国保事業、収益事業等)の各部門の総称。独立採算制を基調として企業経営の観点から定員管理が行われる。

(3) 3年前の職員数との比較

平成28年4月1日現在の総職員数と3年前の平成25年4月1日現在の総職員数を比較すると、平成28年の職員数は、平成25年の職員数に比べ1,452人(2.6%)の減となっている(表4、図3)。

部門別にみると、一般行政部門で大きく増減したのは、商工47人(9.8%)の増、民生509人(5.2%)の増、労働3人(10.7%)の減、農林水産29人(3.1%)の減となっている。

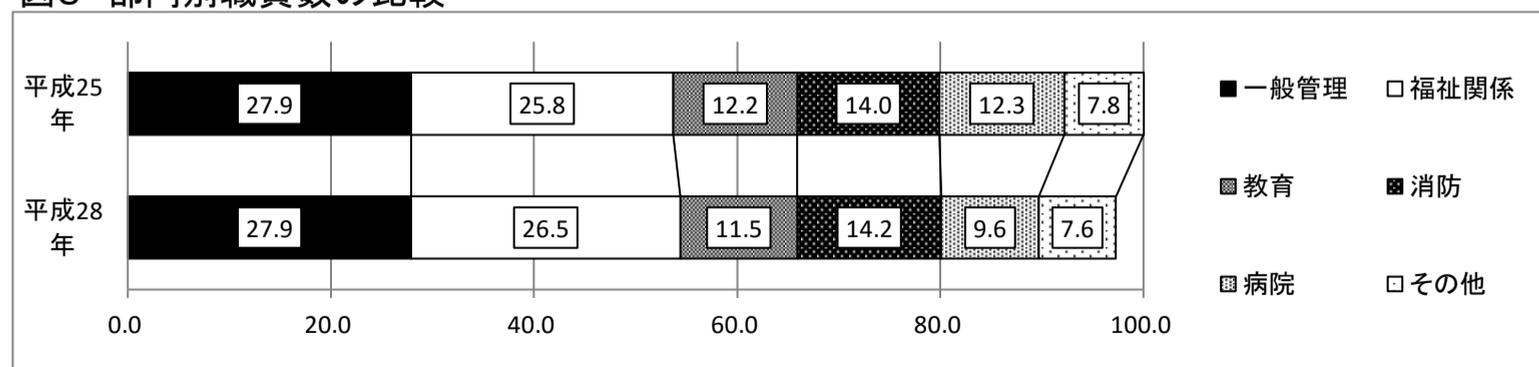
また、特別行政部門では、教育364人(5.4%)の減、消防72人(0.9%)の増となっており、公営企業等会計部門では、病院1,449人(21.4%)の減、その他公営企業等107人(2.5%)の減となっている。

市町村別の状況をみると、平成28年4月1日現在の54団体中、総職員数では、28団体(19市9町村)が職員数減、24団体(18市6町)が増、2団体(2町)が増減なしとなっており、一般行政部門職員数では、20団体(13市7町)が職員数減、31団体(23市8町)が増、3団体(1市2町村)が増減なしとなっている(表5)。

表4 部門別職員数(3年前の職員数との比較) (単位:人、%)

区分	職員数 (平成28.4.1現在)	職員数 (平成25.4.1現在)	増減数	増減率	
一般行政部門	一般管理	15,387	15,394	△ 7	0.0 %
	議会	358	362	△ 4	△ 1.1 %
	総務企画	7,263	7,151	112	1.6 %
	税務	2,248	2,285	△ 37	△ 1.6 %
	労働	25	28	△ 3	△ 10.7 %
	農林水産	902	931	△ 29	△ 3.1 %
	商工	526	479	47	9.8 %
	土木	4,065	4,158	△ 93	△ 2.2 %
	福祉関係	14,593	14,190	403	2.8 %
	民生	10,339	9,830	509	5.2 %
	衛生	4,254	4,360	△ 106	△ 2.4 %
	計	29,980	29,584	396	1.3 %
	特別行政部門	教育	6,355	6,719	△ 364
消防		7,807	7,735	72	0.9 %
計		14,162	14,454	△ 292	△ 2.0 %
普通会計部門計	44,142	44,038	104	0.2 %	
公営企業等会計部門	病院	5,310	6,759	△ 1,449	△ 21.4 %
	その他公営企業等	4,192	4,299	△ 107	△ 2.5 %
	計	9,502	11,058	△ 1,556	△ 14.1 %
合計	53,644	55,096	△ 1,452	△ 2.6 %	

図3 部門別職員数の比較



※ 平成25年4月1日現在の総職員数を100とした場合の指数で表しています。

表5 過去3年間（平成25年～平成28年）の増減数、増減率（増加率順）

（単位：人、％）

市町村名	総職員数	
	増減数	増減率
船橋市	284	6.3
東金市	28	5.9
多古町	17	5.5
松戸市	203	5.3
成田市	55	4.6
大網白里市	16	3.3
千葉市	233	3.2
鋸南町	3	3.0
長柄町	3	2.9
流山市	29	2.9
白井市	9	2.2
館山市	8	2.0
袖ヶ浦市	11	1.8
鎌ヶ谷市	12	1.8
芝山町	2	1.7
浦安市	21	1.6
木更津市	13	1.3
一宮町	1	0.8
匝瑳市	3	0.7
九十九里町	1	0.6
習志野市	8	0.6
茂原市	3	0.5
富里市	2	0.4
柏市	9	0.3
東庄町	0	0.0
神崎町	0	0.0
八千代市	△1	△0.1
鴨川市	△1	△0.2
市原市	△11	△0.5
酒々井町	△1	△0.6
佐倉市	△6	△0.6
君津市	△6	△0.7
横芝光町	△2	△0.7
我孫子市	△6	△0.7
市川市	△30	△0.9
四街道市	△7	△1.1
勝浦市	△3	△1.2
印西市	△14	△2.1
長生村	△3	△2.1
御宿町	△3	△3.1
睦沢町	△3	△3.1
八街市	△20	△3.6
大多喜町	△7	△3.7
長南町	△5	△3.8
野田市	△44	△4.1
栄町	△11	△4.5
白子町	△7	△4.7
山武市	△24	△5.1
いすみ市	△26	△6.5
南房総市	△39	△7.0
香取市	△55	△7.8
銚子市	△59	△8.4
富津市	△55	△10.9
旭市	△1,941	△73.9
市平均	△38	△2.9
町村平均	△1	△0.6
市町村平均	△26	△2.8

市町村名	一般行政部門職員数	
	増減数	増減率
船橋市	200	8.2
芝山町	7	7.8
鋸南町	5	7.4
東金市	21	6.7
成田市	48	6.6
浦安市	44	5.6
鎌ヶ谷市	23	5.4
流山市	30	4.9
大網白里市	12	4.7
九十九里町	5	4.5
習志野市	33	4.3
木更津市	23	4.0
富里市	10	3.9
多古町	4	3.7
白井市	11	3.6
長柄町	3	3.6
松戸市	62	3.5
長南町	3	3.4
袖ヶ浦市	11	3.3
一宮町	3	3.0
八千代市	23	2.7
市川市	37	1.8
茂原市	8	1.7
東庄町	1	1.3
千葉市	43	1.1
柏市	14	0.9
四街道市	3	0.8
君津市	3	0.6
勝浦市	1	0.5
市原市	5	0.4
館山市	1	0.3
匝瑳市	0	0.0
酒々井町	0	0.0
長生村	0	0.0
我孫子市	△2	△0.4
八街市	△2	△0.5
佐倉市	△5	△0.7
山武市	△3	△0.9
鴨川市	△3	△0.9
御宿町	△1	△1.3
横芝光町	△2	△1.3
大多喜町	△2	△1.6
印西市	△8	△1.6
神崎町	△1	△1.8
睦沢町	△2	△3.0
旭市	△14	△3.1
白子町	△5	△4.2
いすみ市	△14	△4.4
野田市	△34	△5.0
栄町	△8	△5.8
南房総市	△23	△6.3
香取市	△38	△7.8
富津市	△27	△9.0
銚子市	△38	△10.5
市平均	12	1.7
町村平均	1	0.6
市町村平均	9	1.6